

【塩分吸着剤】を配合した
ポリマーセメント系鉄筋防錆材

α防錆ペーストHQ

α防錆ペーストHQとは...

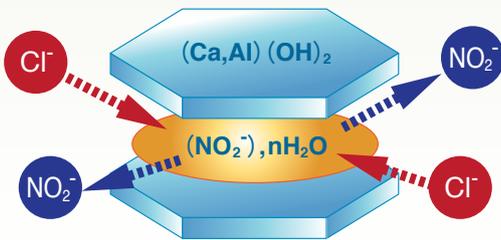
【塩分吸着剤※】を主成分としたポリマーセメント系鉄筋防錆材です。

α防錆ペーストHQを腐食した鉄筋に塗布することで、コンクリート中あるいは鉄筋に固着した錆中の塩化物イオンを吸着し、亜硝酸イオンを放出することにより、鉄筋を再不動態化させます。ハケまたはリシガンを用いて鉄筋表面および下地コンクリートはつり面に塗布してください。

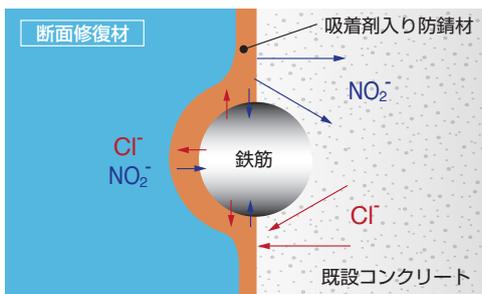
※α防錆ペーストHQは、㈱ジェイアール総研エンジニアリングから技術提供を受け開発した商品です。

塩分吸着のメカニズム

【塩分吸着剤】は正 (+) に帯電させた層状構造を持ち、塩化物イオン (Cl⁻) を吸着し、予め保持させた亜硝酸イオン (NO₂⁻) を放出します。

【塩分吸着剤】による
鉄筋腐食防止のメカニズム

従来の工法と決定的に異なるのは、鉄筋およびその周辺の塩分を低減し、鉄筋の腐食を長期的に抑止することです。



α防錆ペーストHQの特長

- 【塩分吸着剤】による塩化物イオンの吸着
α防錆ペーストHQに含まれる【塩分吸着剤】により、コンクリート中あるいは鉄筋に固着した塩分を吸着し、鉄筋の腐食を抑制します。
- 【塩分吸着剤】による亜硝酸イオンの放出
塩分吸着後、【塩分吸着剤】から亜硝酸イオンが放出され、鉄イオンとの反応により鉄筋が再不動態化することにより、高い防錆性を付与します。
- 高い鉄筋との付着性
ポリマーが付与されているため、コンクリートや鉄筋に協力的に付着し一体化します。



荷姿：10kg袋

α防錆ペーストHQカタログ性能値

■配合

| α防錆ペーストHQ | 粉体 | 水 | 練り上がり量 | 標準塗布量 | 塗布可能面積の目安 |
|-----------|------------------|-----------|-------------------|---------------------------------|------------------------------|
| 1袋配合 | 10kg | 2.6~2.8kg | 7.14ℓ (12.7kg) | 5.34kg/m ² (3mm厚) | 1断面 1.98m ² /袋 |
| 単位配合 | 1400kg (140袋) | 364~392kg | 1000ℓ (密度1.78) | | 2断面 1.25m ² /袋 |

※単位配合は㈱ジェイアール総研エンジニアリング資料に依拠した。

※塗布可能面積の目安

経験値より、はつり面1m²に介する鉄筋展開面積を0.7m²と仮定する。
塗布可能面積は「練り上がり量/1m²あたりの塗布量」となる。

・1断面 (塗布面積=1.2m²) ・2断面 (塗布面積=1.2+0.7m²)
12.7kg÷(1.2m²×5.34kg) = 1.98m² 12.7kg÷(1.9m²×5.34kg) = 1.25m²

■性能値の一例

＜鉄筋防錆材としての性能＞

| 試験項目 | 単位 | 測定例 | 試験方法 |
|-----------------------------------|-------------------|------------|---------------------------------|
| フロー値 | mm | 175 | JASS15M-103 |
| | | 240 | JIS R 5201 (0打) |
| 単位容積質量 | kg/ℓ | 1.78 | JIS A 1171 |
| 防錆性 | 処理部 | 90 | 日本建築学会「鉄筋コンクリート補修用防せい材の品質基準(案)」 |
| | 未処理部 | 59 | |
| 鉄筋に対する付着強さ | N/mm ² | 8.7 | 自社試験方法 |
| 耐アルカリ性(飽和Ca(OH) ₂ 30日) | — | 塗膜に異常を認めない | |
| 塩化物イオン吸着量 | mg/g | 4.0以上 | |
| 亜硝酸イオン放出量 | mg/g | 15.0以上 | |

＜付着性＞

| 試験項目 | 条件 | 材齢 | 単位 | 測定例 | 試験方法 |
|--------------|-------------------|-----|-------------------|-----|---|
| コンクリートとの付着性 | 湿潤状態 | 7日 | N/mm ² | 1.6 | 建研式付着試験 <養生条件> JSCE-K561 標準条件 <打継ぎ間隔> 塗布から3時間後 |
| | | 28日 | | 2.2 | |
| | プライマー塗布 | 7日 | | 2.1 | |
| | | 28日 | | 2.5 | |
| 各種断面修復材との付着性 | ポリマーセメントモルタル | 28日 | | 2.5 | |
| | 速硬性ポリマーセメントモルタル | | | 2.0 | |
| | 防錆剤混和ポリマーセメントモルタル | | | 2.3 | |

※PCM：リフレドライショット

速硬性PCM：NEWリフレモルセット

防錆剤混和PCM：リフレモルセットSPα工法 (55kg/m²配合)

施工方法

下地清掃

- ▶ コンクリートははつり面の脆弱部および鉄筋表面の錆を、ケレン清掃等により取り除いてください。
- ▶ コンクリート面を高圧水洗で洗浄してください。水洗ができない場合は、プロアーにより下地の埃を十分に取り除き、水湿ししてください。

α防錆ペーストHQの混練

- ▶ 水を練り容器に投入後、攪拌機で攪拌しながらα防錆ペーストHQパウダーを徐々に投入し、均一なスラリーとなるよう3分間以上混練してください。

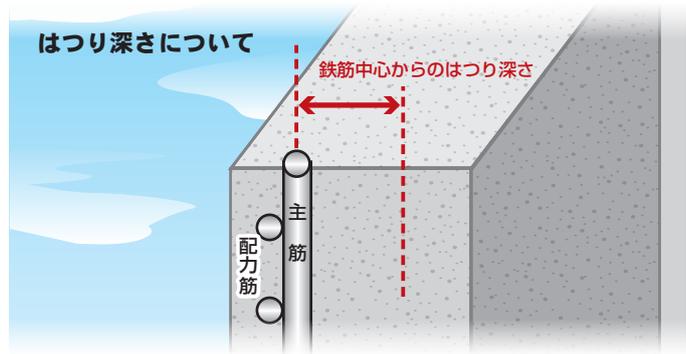
α防錆ペーストHQの塗布

- ▶ 《標準工法》
鉄筋が乾いていることを確認後、刷毛で3mm厚みを目安に塗布してください。

養生・断面修復工

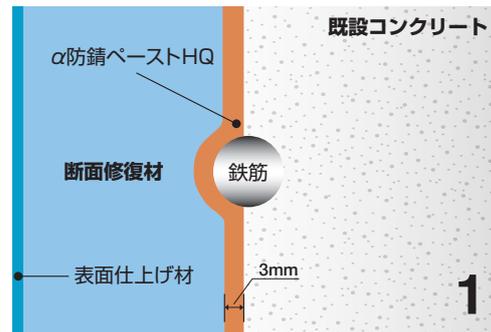
- ▶ 施工後は、降雨、強風、直射日光、凍結を避けてください。
- ▶ α防錆ペースト塗布後、20～30分経過後～翌日の間に断面修復を行ってください。

施工断面と塗布厚の設定



■ 鉄筋位置の塩化物イオン量 2kg/m³ までの場合

施工断面 1断面・はつり深さ 鉄筋中心まで・α防錆ペーストHQ塗布厚 3mm

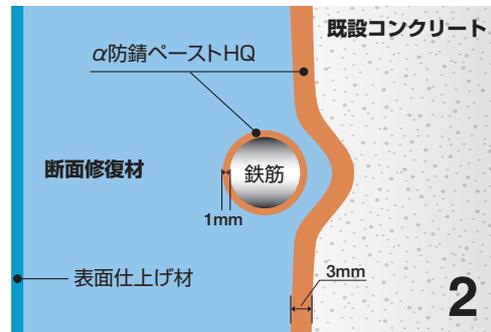


■ 鉄筋位置の塩化物イオン量 2～5kg/m³ までの場合

施工断面 2断面・はつり深さ 鉄筋中心から25mm・α防錆ペーストHQ塗布厚 3mm

■ 鉄筋位置の塩化物イオン量 5kg/m³ 以上 (10kg/m³ の場合)

施工断面 2断面・はつり深さ 鉄筋中心から35mm・α防錆ペーストHQ塗布厚 3mm



安全上の取扱い注意事項

- ・本製品はアルカリ性です。作業をする際には、目、皮膚等に直接触れないように、保護眼鏡、保護マスク、保護手袋等の保護具を着用してください。
- ・施工後は、手、顔等をよく洗ってください。
- ・応急処置
目に入った場合は、ただちに清浄な水で15分間以上洗浄し、眼科医の診察を受けてください。
- ・保管上の注意
0℃以下、40℃以上にならないように保管してください。
- ・廃棄上の注意
水を混ぜてペースト状にし、硬化後に産廃物として処分してください。

使用および取扱いの前に、当製品の安全データシート(SDS)をお読みください。
本カタログの記載内容については、予告無しに変更する場合がありますので、予め御了承願います。

住友大阪セメント株式会社 建材事業部

東京 〒102-8465 東京都千代田区六番町6番地28
 大阪 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-4(アクア堂島東館15F)
 札幌支店 〒060-0003 札幌市中央区北3条西2-10-2(札幌HSビル10F)
 東北支店 〒980-6003 仙台市青葉区中央4-6-1(SS30 3F)
 北陸支店 〒920-0849 金沢市堀川新町2-1(井門金沢ビル7F)
 名古屋支店 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2-14-19(住友生命名古屋ビル3F)
 四国支店 〒760-0033 高松市丸の内4-4(四国通商ビル6F)
 広島支店 〒732-0827 広島市南区稲荷町4-1(広島稲荷町NKビル7F)
 福岡支店 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-2-5(紙与博多ビル8F)

電話 03(5211)4752 Fax 03(3221)5624
 電話 06(6342)7704 Fax 06(6342)7708
 電話 011(241)3901 Fax 011(221)1017
 電話 022(225)5251 Fax 022(266)2516
 電話 076(223)1505 Fax 076(223)0193
 電話 052(566)3202 Fax 052(566)3273
 電話 087(851)6330 Fax 087(822)6870
 電話 082(577)7645 Fax 082(577)7646
 電話 092(481)0186 Fax 092(471)0530

本製品に関するお問い合わせ・ご用命は